

三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課		課長名	獅子原 朋広
事業主体	実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金							<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額							<input type="checkbox"/> 法定受託事務				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[高速交通開通アクション・プログラム]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>三方五湖エリアは、自然、景観、歴史、文化など多様かつ重厚な資源を有しており、新幹線開業時の重要な交流拠点エリアとなりうる。そうした中、大きな事業等が同時並行で進行しており、これらを含むべき大きな傘が必要。このため、平成30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、三方五湖エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今後、各主体において、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>ステップアッププログラムの進捗を管理しながら、協議会の下に設けた部会において、新幹線敦賀開業時までには解決すべき観光の問題点を検討し、課題解決のための事業の実行へとつなげていく。 また、新幹線開業時に向けて、三方五湖エリアのブランド力を向上させ、効果的に発信していく。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 「三方五湖エリア全体協議会」の開催（30年度～） ・協議会を構成する観光、環境、農・漁業などの関係団体と県、美浜町・若狭町が、ステップアッププログラムの進捗を管理するとともに、三方五湖エリアの課題や必要となる取組みについて議論し、エリア全体の更なる魅力アップに向けた施策を検討</p> <p>(2) 三方五湖エリア全体協議会専門部会の開催（令和1年度～） ・専門部会を設け、三方五湖の課題の解決策を検討する。 ・各課題に応じて、有識者（専門家）のアドバイスを受け課題解決に向けてサポートする。</p> <p>(3) 三方五湖ブランド力向上・広報施策（令和2年度～） ・北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光ロゴマーク（令和元年度作成）を基軸にした広報施策の展開 （ロゴマークのターゲット（関東圏の女性およびファミリー層）を狙って訴求できる媒体（youtube等）を活用）</p>												
[受益者] 若狭地域						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア活性化支援事業 (役割分担)					
市町との連携状況	美浜町、若狭町とともに協議会を構成				他県の状況							

三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	実行委員会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H30 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金										
補助率	定額										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,500				1,500						
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移	-	1,628	1,412	2,000	1,500	R2 三方五湖ロゴマークのデザインマニュアル・基本ツールを作成 R3 ロゴマークにかかる経費を削減					
2月現計予算額の推移	-	1,628	1,412								
決算額の推移	-	836	1,197								
前年度までの 主な増減理由											
[成果指標等の推移]											
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	三方五湖の入込数(千人) (目標) (300) 実績 286	(300) 282	(300) 371	(300)	(300)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準(30万人)を維持 ※レイ ンボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値(H30年度比20%増)に合わせる			
活動指標	全体協議会の開催 (目標) 実績			(2)	(2)						
[事業の評価]											
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・全体協議会の実施 ・シンポジウムの実施 ・三方五湖が抱える課題(周遊、交通、広報)に関して、専門部会を開催し、解決策を検討 ・R元に作成した三方五湖ロゴマークのデザインマニュアル、基本ツールを作成し、活用を促進 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 500
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	若狭町、美浜町ほか				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R3 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	1/2ほか											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[高速交通開通アクション・プログラム]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>三方五湖エリアは、自然、景観、歴史、文化など多様かつ重厚な資源を有しており、新幹線開業時の重要な交流拠点エリアとなりうる。そうした中、大きな事業等が同時並行で進行しており、これらを包 括するべき大きな傘が必要。このため、平成30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、三方五湖エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今後、各主体において、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>北陸新幹線開業時の重要な交流拠点となる三方五湖エリアにおいて、県・町・地元が一体となって観光の目玉づくりを加速させ、誘客促進を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>三方五湖エリア活性化にかかる支援 観光拠点のレベルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レインボーライン山頂公園観光施設改修・整備 ・ 三方五湖遊覧船建造・レークセンター整備 ・ 舟小屋改修 等 												
[受益者] 若狭地域						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア魅力アップ推進事業 (役割分担)				
市町との連携状況	美浜町、若狭町とともに協議会を構成					他県の状況						

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広						
事業主体	若狭町、美浜町ほか				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3	0	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6	年度	
事業実施方法	補助金											経過年数	1				年
補助率	1/2ほか																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等										
予算額	193,535					193,535											
[予算額の推移等] (単位：千円)																	
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						193,535											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	三方五湖の入込数（千人）	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準（30万人）を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値（H30年度比20%増）に合わせる								
	(目標) 実績	286	282	371													
活動指標									事業内容が拠点整備等への支援であるため活動指標の設定なし								
	(目標) 実績																
[事業の評価]																	
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価							
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

嶺南広域サイクリングルート整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広				
事業主体	県、市町ほか				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R3 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	補助金												□ 法定受託事務	□ 補助金	■ その他
補助率	1/2ほか														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[高速交通開通アクション・プログラム]								
[解決すべき問題・課題]															
三方五湖周遊ルートを核としたナショナルサイクリングルートの認定を目指す。															
[事業目的]															
三方五湖周遊ルートを核としたサイクリングルートを整備し、ナショナルサイクリングルートの認定を目指すとともに、北陸新幹線開業に向けて、国内外のサイクリストやファミリー層などの誘客を図る。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ①ルートロゴマークの作成 ②サイクルステーションスタッフ研修会の開催 ③ツアーガイドの養成 ④サイクリングイベントの開催 ⑤ゴコイチプロモーション 等 															
[受益者] 若狭地域						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア魅力アップ推進事業 (役割分担)								
市町との連携状況	嶺南6市町、観光協会等とともに協議会を構成					他県の状況									

嶺南広域サイクリングルート整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広			
事業主体	県、市町ほか				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	R3	0	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	補助金									経過年数	1			年
補助率	1/2ほか									1	年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	7,814	3,907			3,907	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						7,814								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	三方五湖の入込数(千人) (目標) 実績	(300) 286	(300) 282	(300) 371	(300)	(300)	(338)		新型コロナの影響も踏まえ、当面28年水準(30万人)を維持 ※レインボーラインの数値を準拠 中間目標は観光ビジョンの目標値(H30年度比20%増)に合わせる					
活動指標	サイクリングイベント等 実施件数(回) (目標) 実績					(1)								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

観光統計調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	H25 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数							
補助率	—			9 年							
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限				関連する県の計画等			[ふくい観光ビジョン]			
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>県内の観光入込数や観光消費額を的確に把握・評価するため、観光庁基準等に基づく観光統計調査を実施する必要がある。。</p>											
<p>[事業目的]</p> <p>観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」に対応した観光客動態調査を実施することにより、本県の観光施策等への活用を図る。</p>											
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 観光客動態調査 <input type="radio"/> 調査方法 調査員による面接調査 <input type="radio"/> 調査地点 県内主要観光地 17 地点 <input type="radio"/> 調査項目 年齢・性別、旅行目的、旅行形態、交通手段、宿泊数、訪問観光地点数、観光消費額等 <input type="radio"/> 回収数 12,000 サンプル以上 (サンプル数には同行者数を含む)</p> <p>(2) 観光客動態調査 (簡易調査) <input type="radio"/> 調査方法 調査員による面接調査 <input type="radio"/> 調査地点 県内主要観光地 13 地点 <input type="radio"/> 調査項目 訪問観光地点数、観光消費額のみ <input type="radio"/> 回収数 8,000 サンプル以上 (サンプル数には同行者数を含む)</p>											
[受益者]						[想定される受益者数]					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」により他の都道府県も実施				

観光統計調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,054				4,054										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		3,981	3,981	4,054	4,054	4,054									
2月現計予算額の推移		3,981	3,981	4,054	4,054										
決算額の推移		3,035	3,363	3,951											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績								事業内容が統計調査であるため指標の設定なし						
活動指標	調査箇所数 (目標) 実績	(30) 30	(30) 30	(30) 30	(30)	(30)	(30)		県内主要観光地を設定						
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
・観光客動態調査を30地点（本調査、簡易調査含む）で実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

環白山広域観光推進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	環白山広域観光推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H11 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
福井県、石川県、岐阜県等が広域的に連携して環白山の魅力を積極的にPRを行い、中部縦貫自動車道開通に向けさらなる誘客を図る必要がある。												
[事業目的]												
福井県、石川県、岐阜県等が連携して白山周辺エリアの誘客と地域活性化を推進する。												
[事業内容]												
環白山広域観光推進協議会（3県4市1村）による観光誘客事業を実施												
<ul style="list-style-type: none"> (1) パンフレット・ポスター作成 <ul style="list-style-type: none"> ・環白山地域の観光地等を紹介するパンフレット、ポスターを活用しイベント等でPR (2) フォトスタンプラリー <ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト (3) 出向宣伝、マスコミキャラバン <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏の報道機関や出版社等への営業 (4) 特集ページ・ビデオによる魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会ウェブサイトの充実 (5) イベントによる魅力発信、広報宣伝等 												
[受益者] 福井県、石川県、岐阜県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：福井県5,477、石川県7,410、岐阜県12,524（H26経済センサス）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県、岐阜県も同額を負担					

環白山広域観光推進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	環白山広域観光推進協議会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H11 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	定額								<input checked="" type="checkbox"/> その他		23 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,000				1,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		8,000	1,000	1,000	1,000	1,000							
2月現計予算額の推移		8,000	1,000	1,000	1,000								
決算額の推移		8,000	1,000	1,000									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)	(12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績	13,043	16,969	18,100								
活動指標	ガイドブック発行冊数	(目標)	(25,000)	(70,000)	(70,000)	(70,000)	(70,000)	(70,000)	(70,000)				
		実績	25,000	70,000	70,000								
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット・ポスター作成 ・スマホスタンプラリー ・情報発信・PR(新聞、テレビ、ラジオ、SNSを活用) 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>日本遺産や鉄道遺産などに認定された観光資源等を本県の観光誘客に活用するため、福井県、滋賀県、京都府が広域的に連携して観光ルートの開発など実施する必要がある。</p>												
[事業目的]												
<p>舞鶴若狭自動車道(若狭さとうみハイウェイ)、京都縦貫自動車道の全線開通による新たな高速交通ネットワークを活かし、日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。</p>												
[事業内容]												
<p>福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会(3府県)による観光誘客 ○日本遺産・鉄道遺産・歴史・自然遺産活用 ・新たな周遊モデルルートの開発(「日本遺産、鉄道遺産or戦国マップ」を刷新) ・観光キャンペーン等による相互PR ・鉄道遺産や海湖と森の自然資産の他、関連するガイダンス施設や体験メニューなどの観光素材集を活用した共同営業</p>												
[受益者] 三府県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 福井県5,477、滋賀県5,911、京都府15,965 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高速道路網を活用した観光誘客事業 (役割分担) 上記事業の「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンにおいて、三府県の日本遺産等をPR					
市町との連携状況					他県の状況		滋賀県、京都府も同額を負担					

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,000	500			500		地方創生推進交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,000	1,000	1,000	600	1,000	R2は新型コロナウイルスの影響に伴い事業実施の見送り等により負担金の減となったが R3は例年通りの事業実施を予定					
2月現計予算額の推移		1,000	1,000	1,000	600							
決算額の推移		1,000	1,000	1,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績 13,043	16,969	18,100								
活動指標	三府県共同営業回数	(目標) (4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)				
		実績 4	4	4								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・「日本遺産ぐるっとマップ」刷新(3万部) ・「戦国を訪ねる旅マップ」増刷(3万部) ・三府県周遊ドライブパス事業は新型コロナウイルスの影響により中止 				R2に中止となった三府県周遊ドライブパス事業について 新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ実施を検討				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井・石川広域観光連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広			
事業主体	越前加賀広域観光推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	負担金												□ 法定受託事務	■ その他
補助率	定額													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]							
[解決すべき問題・課題]														
北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通に向けて、石川県と連携して首都圏や関西・中京圏への観光PRを行い、誘客促進を図る必要がある。														
[事業目的]														
越前・加賀エリアとして県境を越えた一体的な圏域を形成し、域内の観光素材の魅力をまとめて首都圏や関西エリア等でPRすることにより、北陸新幹線等を活用した誘客と地域経済の活性化につなげる。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> (1) 首都圏における魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設や農協、漁協と連携して食や温泉などをPRする誘客イベントの実施 (2) 関西・中京エリアにおける魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・出向宣伝、旅行会社キャラバンの実施 (3) 大手旅行予約サイトや旅行雑誌による発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行予約サイトへのクーポン付特集記事掲載 ・協議会パンフレット作成 (4) 広報宣伝活動等 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路SA、小松空港内PRコーナーへのパンフレット配架 														
[受益者] 福井県、石川県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数：福井県5,477、石川県7,410 (H26経済センサス)								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸三県共同観光客誘致拡大事業 (役割分担) 上記事業は JRとのタイアップにより「北陸」として県外にPRするもので、本事業における越前・加賀エリアについても連携してPRを実施						
市町との連携状況	越前・加賀エリアの8市町が参加					他県の状況		石川県も同額を負担						

福井・石川広域観光連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	越前加賀広域観光推進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,000	2,500			2,500	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,545	5,000	5,000	5,000	5,000						
2月現計予算額の推移		4,545	5,000	5,000	5,000							
決算額の推移		4,545	5,000	5,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績 13,043	16,969	18,100								
活動指標	首都圏等出向宣伝実施回数	(目標) (3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	首都圏、関西・中京圏等			
		実績 3	3	3								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの改訂・増刷・配架 ・Instagram開設、情報発信 ・フォトコンテストと連携した情報発信PR (新聞、WEB、SNSを活用) ・ドライブマップの作成 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

観光レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	H23 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営								経過年数		
補助率	—								11 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]				
[解決すべき問題・課題]											
「ふくい観光ビジョン」目標（R6観光入込客数2000万人）の達成に向け、専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策の進行管理を行う。											
[事業目的]											
北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光客の満足度を一層高めるための観光施策の推進を図る。											
[事業内容]											
専門家の指導による観光施策の推進 観光事業に精通した専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策を推進											
[受益者]						[想定される受益者数] 18,100千人（R元年観光客入込数）					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

観光レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	190				190							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		955	564	3,171	646	190	R3 オンライン会議による開催費用の削減					
2月現計予算額の推移		955	564	3,171	646							
決算額の推移		588	519	1,633								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標									ふくい観光ビジョン推進懇話会の開催が事業目的であるため 指標の設定なし			
活動指標	懇話会開催回数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				
		実績	1	1	1							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
ふくい観光ビジョン推進懇話会の開催（1回）								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 456	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

観光教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数							
補助率				9 年							
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]				
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>新幹線福井・敦賀開業に向けて、地域の「稼ぐ力」を高めるため、地域リーダー・多様なプレイヤーの育成を推進していく必要がある。</p>											
<p>[事業目的]</p> <p>県内各地でDMO設立の動きが進むなか、地域の観光を牽引するリーダーおよび観光ビジネスを実践する多様なプレイヤーを育成し、地域の「稼ぐ力」を引き出す。</p>											
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 観光事業者やDMO職員等を対象とした「福井県観光アカデミー」の開講 地域マネジメントコース(30名)、観光ビジネスコース(30名) (2) 高校生、大学生を対象とした観光教育 学校の授業における職業教育の一環として観光アカデミー講師、県職員等を派遣</p>											
[受益者] 受講者						[想定される受益者数] 60人(観光アカデミー受講者)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾				

観光教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	0											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,357	4,878		(諸) 600	4,879	地方創生推進交付金、講座受講料						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,966	4,966	4,966	11,037	10,357						
2月現計予算額の推移		4,966	4,966	4,966	9,325							
決算額の推移		4,628	4,700	3,869								
前年度までの 主な増減理由	R2～ 観光ビジネスコース（30名）を新設											
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光アカデミー受講者数	(目標) (30)	(30)	(30)	(60)	(60)	(60)	(60)	R2～ 地域マネジメントコース（30名） 観光ビジネスコース（30名）を開設			
		実績 32	30	32								
活動指標	観光アカデミー開催回数	(目標) (10)	(10)	(10)	(20)	(20)	(20)	(20)				
		実績 10	10	9								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
観光アカデミーを開講（各コース10回） ・地域マネジメントコース（22名） ・観光ビジネス創造コース（20名）								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

マイカー観光促進キャンペーン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、福井県道路公社				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	H22 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、補助								事業 開始 年度			経過年数
補助率	10/10								12 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
コロナや暖冬などの影響でマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンが必要である。												
[事業目的]												
マイカーを利用した観光客の県内での滞在・周遊を促進するため、県内の主要観光地を結ぶ有料道路の割引を中心とした観光誘客を行う。												
[事業内容]												
<p>(1) 有料道路通行料金の半額割引 法恩寺山有料道路： ゴールデンウィーク、夏休み、1～2月（スキーシーズン）の土日祝日 三方五湖有料道路： 12～2月</p> <p>(2) 半額割引利用者に対し、実施期間中に協賛店で割引等を実施 法恩寺山有料道路： 奥越エリアで実施 三方五湖有料道路： 嶺南エリアで実施</p> <p>(3) 新 法恩寺山有料道路の平日県民無料化：1～2月</p>												
[受益者] マイカー利用の観光客、スキー客						[想定される受益者数] 750,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	<input type="checkbox"/> 大野市、勝山市 ・割引実施期間中のクーポン発行、スタンプラリー等の企画と協賛店の募集 <input type="checkbox"/> 若狭町、美浜町 ・割引実施期間中のクーポン発行、スタンプラリー等の企画と協賛店の募集 ・レインボーライン紅葉まつりを10月に実施					他県の状況	石川県 白山白川郷ホワイトロードを利用かつ石川県内に宿泊した場合、片道の通行料金が無料 岐阜県 飛騨地域に宿泊した場合、通行料金が半額					

マイカー観光促進キャンペーン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、福井県道路公社				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H22 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,718			(諸) 1,668	32,050							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		33,140	32,168	29,332	28,965	33,718	R3 冬観光促進および観光需要の分散化に向け、法恩寺山有料道路の平日県民無料化(1~2月)を実施					
2月現計予算額の推移		30,741	32,168	32,091	32,307							
決算額の推移		25,554	30,497	28,857								
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	年間通行台数	(目標)	(300,000)	(300,000)	(300,000)	(300,000)	(300,000)	(300,000)	舞鶴若狭自動車道全線開通後 10,000台増 中部縦貫自動車道永平寺大野道路開通後 10,000台増			
		実績	248,705	270,151	223,393							
活動指標	割引対象日数	(目標)	(168)	(168)	(168)	(168)	(158)	(168)	(168)			
		実績	168	168	168							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・法恩寺山有料道路の半額割引 60,348台 (GW中止、夏休み、1~2月土日祝日) ・三方五湖有料道路の半額割引 40,756台 (9~11月) 				<ul style="list-style-type: none"> ・法恩寺山有料道路 例年実施している半額割引に加え、平日県民無料化(1~2月)を実施 ・三方五湖有料道路 割引期間を利用者が集中する9~11月から12~2月に変更(観光需要の分散化、閑散期対策) 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟、市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
コロナ禍において、北陸3県が一体となって修学旅行、合宿等の教育旅行の誘致活動を強化する必要がある。												
[事業目的]												
福井ならではの体験の情報を積極的に発信し、本県への誘致促進を図る。												
[事業内容]												
<p>旅行会社、教育関係機関への営業強化 【県観光連盟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡 旅行会社、学校等への営業訪問 ・新 大手旅行会社を対象にした研修の受入 ・拡 教育関係者向けの説明会開催、本県への視察招聘 ・旅行会社向けのエクスカージョン、首都圏における商談会開催（北陸3県、JR西日本、JR東日本と連携実施） ・新 福井ならではの修学旅行向け体験プログラムの造成 ・修学旅行における福井県オリジナル体験メニューの体験料助成 助成額 : 1,000円/人・泊 												
[受益者] 県外から福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 94,800人 (H29)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市町と共同営業 ・学生合宿助成は市町も同額を負担 ・市町および関係事業者間で、合宿の受入状況や取組事例などの情報交換会を実施 					他県の状況	富山県 「富山で合宿！」誘致事業補助金					

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H22 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,074	5,537			5,537	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		44,878	36,486	42,999	38,651	11,074	R3 市町主体の学生合宿助成事業については、R2.2補正予算に前倒しして実施					
2月現計予算額の推移		33,304	36,486	41,449	8,487							
決算額の推移		33,019	30,977	34,411								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県外からの教育旅行者数 (目標) 実績	(100,000) 62,884	(100,000) 97,163	(100,000) 104,281	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)	福井県観光戦略の数値目標「教育旅行者数10万人」を継続			
活動指標	合宿助成制度実施市町数 (目標) 実績	(17) 15	(17) 15	(17) 15	(17)	(17)	(17)	(17)	県内17市町			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育庁と連携して県内修学旅行誘致に取り組み、県内の9割に近い学校が県内で修学旅行を実施 ・ 北陸三県が連携し、首都圏の旅行会社とのオンライン商談やPR動画を作成 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東圏、北陸エリア・近隣県への営業強化 ・ 北陸三県連携による関東圏・関西圏の校長会の現地研修会を開催 ・ おもてなし体制の磨き上げを図る研修会の実施 ・ SDGs学習要素を加えた新たな体験プログラムを造成 				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

コンベンション・MICE誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広			
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	補助							関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]				
補助率	1/2、10/10													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]													
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県観光連盟が本県の観光地域づくりの中核となってさらなる観光振興と誘客促進を図る必要がある。														
[事業目的] 国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。														
[事業内容] コンベンション部門の新設 ・開催助成金 国内900万円、国外1,200千円 ・広報・宣伝、観光PR、MICE誘致のためのイベント出展等														
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

コンベンション・MICE誘致促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	29,248				29,248							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				50,135	29,248	R3 コンベンション開催助成金申請数の減 (R2 44件 → R3 31件)						
2月現計予算額の推移				6,243								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	コンベンション参加人数 (目標) 実績			(20,000)	(20,000)	(30,000)	(40,000)					
活動指標	コンベンション開催件数 (目標) 実績			(30)	(30)							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催助成金交付件数 0件 ・MICE誘致のための国内開催イベント出展 2件 (オンライン) 				<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致強化 国内開催イベントへ出展 4件 (予定) 海外開催イベントへ出展 2件 (予定) 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 20,887	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県観光連盟が本県の観光地域づくりの中核となってさらなる観光振興と誘客促進を図る必要がある。												
[事業目的]												
福井県版DMOが地域の観光を担うプレイヤー支援やマーケティング調査等を行うことにより、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域が一体となって観光に取り組む基盤づくりを図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> (1) 観光地域づくりマネージャーの配置 (2) インバウンドアドバイザーの配置 (3) 地域の観光を担うプレイヤー支援 補助内容：地域の食・食文化に紐づく地域ブランドの創出 地域の周遊滞在・宿泊スタイルの推進 地域資源を活かした土産品、体験コンテンツ造成 等 (4) 外部専門家によるサポート (5) 他地域のモデルプレイヤーとのネットワーク構築 (6) マーケティング調査 												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数：5,477 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広					
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	1/2、10/10															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	90,975	41,987			48,988	地方創生推進交付金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移					90,975	地域の観光を担うプレイヤー支援補助金の新設										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	観光消費額(億円)	(目標)			(1,342)		(1,700)	地域の観光を担うプレイヤー支援補助金								
		実績														
活動指標	観光プレイヤー支数	(目標)			(10)											
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

バスツアー造成促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	補助								事業開始 年度			経過年数
補助率	10/10								7 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
コロナ禍において、バス旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。												
[事業目的]												
北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として、本県を訪れるバスツアーを企画する旅行会社に対し支援することで、首都圏や中・四国地方からの新たな観光誘客を図る。												
[事業内容]												
バスツアーを企画する旅行会社に対する助成 補助単価： 25,000円/台 ※貸し切りバス料金の制度改正（H26.8月～）に伴う値上げ相当 補助台数： 80台（上限）												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,477（H26経済センサス）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・各市町のパンフレットやイベントチラシ等を配架 ・各市町が観光PRする際にイベントスペースを使用					他県の状況						

バスツアー造成促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	10/10								<input type="checkbox"/> その他		7 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,000				2,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000							
2月現計予算額の推移		2,000	2,000	2,000	2,000								
決算額の推移		1,450	1,775	1,875									
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	送客人数	(目標) (2,880)	(2,880)	(2,880)	(2,880)	(2,880)			36名 (定員45名 × 乗車率8割) × 台数				
		実績 2,205	2,378	2,394									
活動指標	支援台数	(目標) (80)	(80)	(80)	(80)	(80)							
		実績 70	71	75									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
新型コロナウイルスの影響を踏まえ、首都圏など遠方を対象としていたエリアを関西・中京・近隣府県へも拡大し、日帰りバスツアーも対象に含めたことにより、例年に近い実績となった。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	2 年		
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道本県開通にあわせ、関西・中京圏へのプロモーション強化が必要である。												
[事業目的]												
関西・中京圏において、恐竜等の強みを活かした情報発信を行うことにより、さらなる誘客を強化する。												
[事業内容]												
<p>(1) 関西・中京圏におけるプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツーリズムEXPOジャパンへの出展 ・ JR名古屋駅周辺におけるDINO-A-LIVEを活用した観光PR <p>(2) 現地メディア等への営業活動 【県観光連盟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント、物産展の開催等に併せて現地メディアを営業訪問 ・ 県外イベント等へのブース出展によるPR ・ 出向宣伝等と同行する観光宣伝隊の管理・運営 												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいの物産と観光展開催支援事業 (役割分担) 上記事業と共同した観光プロモーションを実施				
市町との連携状況	・ 出向宣伝等への共同参加					他県の状況						

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)	
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			R2 年度
補助率	10/10								□ その他			事業開始年度 経過年数 2 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	23,518	11,759			11,759	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					20,300	23,518						
2月現計予算額の推移					5,969							
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	(12,500) 13,043	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)		
活動指標	ツーリズムEXPO出展 ディノアライブ開催件数	(目標) 実績				(2)	(2)	(3)	(3)			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響により、関西・中京圏の駅周辺の出向宣伝等は中止				ツーリズムEXPO(大阪)への出展 名古屋駅周辺における出向宣伝(ディノアライブ)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	H25 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、負担金								事業開始 年度			経過年数
補助率	定額								9 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
コロナ禍において、高速道路を利用したマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。												
[事業目的]												
石川県やNEXCOと連携し、ドライブプラン造成などを実施し、関西・中京圏等からの誘客を強化する。												
[事業内容]												
(1) 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの実施 【実行委員会負担金】 嶺南市町等と一体となって、若狭路の観光地やイベントをPRするキャンペーンを実施 (2) 新 石川県との連携による関西・中京発のドライブプラン造成 (3) NEXCOと連携した誘客キャンペーン等の実施 ・お国じまんカードラリー NEXCO西日本と包括協定を締結する府県の「ご自慢」の観光地を周遊するキャンペーン ・SAでの観光情報発信 若狭路(福井県)へ向かう高速道路SAでの観光パンフレット配架												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・実行委員会参加により共同でイベント、出向宣伝等を実施 ・お国じまんカードラリーのスポット選定、運営					他県の状況						

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、実行委員会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,000	4,500			4,500	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,535	5,535	5,465	5,464	9,000	R3 石川県と連携したドライブプラン造成					
2月現計予算額の推移		5,535	5,535	5,465	5,464							
決算額の推移		5,414	5,413	5,420								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)	(12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)		
		実績	13,043	16,969	18,100							
活動指標	出向宣伝実施箇所数	(目標)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	嶺北地域、京都府・滋賀県、関西・中京ほか		
		実績	26	26	26							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・「海湖と歴史の若狭路」キャンペーン(7~11月) ・NEXCOと連携した誘客キャンペーン等 高速道路SAでの観光情報発信(パンフ配架) お国じまんカードラリー(8~2月) フリーペーパー「北陸道楽」への出稿 				<ul style="list-style-type: none"> ・石川県との連携によるドライブプランの造成 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体		(公社)福井県観光連盟			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助			経過年数					10 年			
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通を契機に、地域やターゲットに応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客の誘致拡大を図る必要がある。												
[事業目的]												
首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。												
[事業内容]												
本県観光に関する説明（プレゼンテーション）および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施 開催場所： 東京、名古屋、大阪												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,477（H26経済センサス）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・各市町も商談会に参加					他県の状況						

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H24 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	10/10								<input type="checkbox"/> その他		10 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,201				3,201								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		4,057	4,057	3,150	3,201	3,201							
2月現計予算額の推移		4,057	4,057	3,150	2,221								
決算額の推移		4,057	4,057	3,150									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	(12,500) 13,043	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
	活動指標	県内観光事業者参加団体数 実績	(150) 154	(150) 127	(150) 124	(150)	(150)	(150)	(150)				
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
・大阪観光商談会 : 中止 ・名古屋観光商談会 : オンライン開催 県内事業者数 26団体 44人 旅行会社 14社 31人 ・東京観光商談会 : オンライン開催 県内事業者数 31団体 45人 旅行会社 17社 32人								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ふくいの物産と観光展開催支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	(一社) 福井県物産協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助								経過年数	38 年		
補助率	2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
県産品の販売促進と本県への誘客促進を図るため、大都市圏等での物産展とあわせた誘客プロモーションを実施する必要がある。												
[事業目的]												
大都市圏等で福井の食や観光地等の魅力を消費者に対して直接販売・PRすることにより、県産品の販売促進と観光誘客の拡大を図る。												
[事業内容]												
<p>福井県「越前・若狭」の物産と観光展の開催</p> <p>補助対象 : 5社以上の出展、かつ事業費100千円以上の物産展で首都圏、中京圏、関西圏等において10件</p> <p>補助要件 : 県全体の観光PRを実施すること</p> <p>補助限度額: 福井県単独開催の物産展 5,000千円/件 他県との合同開催の物産展 1,000千円/件</p>												
[受益者] 福井県の物産関係事業者等						[想定される受益者数] 300社						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 関西・中京圏における誘客プロモーション事業 (役割分担) 物産展の開催とあわせて、ディノアライブ等実施					
市町との連携状況	・各市町の観光PRポスター、パンフレットの掲出 ・観光PRコーナーに市町も参加					他県の状況						

ふくいの物産と観光展開催支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	(一社) 福井県物産協会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			事業開始年度	S59 年度
補助率	2/3								□ その他			経過年数	38 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	15,000				15,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		27,472	27,472	15,000	15,000	15,000							
2月現計予算額の推移		27,472	7,694	15,000	15,000								
決算額の推移		27,472	7,694	14,350									
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)	(12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績	13,043	16,969	18,100								
活動指標	出店者数	(目標)	(150)	(150)	(150)	(150)	(200)	(300)	(300)	福井県物産展(50社×5件)+合同物産展(10社×5件)			
		実績	132	38									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
R2.9 東武百貨店船橋店で開催 R2.10 東武百貨店池袋店で開催 R3.2 東武百貨店吉祥寺店で開催 R3.2 名鉄百貨店本店で開催								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								■ 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

周遊・滞在型観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	市町、観光団体等				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	ハード事業支援 3/10、ソフト事業支援 1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け、複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進し、さらなる誘客拡大や地域の活性化を図る必要がある。												
[事業目的]												
複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進することにより、北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け、さらなる誘客拡大や地域の活性化を図る。												
[事業内容]												
<p>市町等が実施する以下の事業に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハード事業 <ul style="list-style-type: none"> ①エリアのゲートウェイ機能（広域観光案内、物産販売等の機能）を持ち、エリア内周遊の拠点となるもの ②エリア内の宿泊拠点となり、宿泊者数増加につながるもの ③主要観光地において観光客の滞在時間の増加を促すもの に対して支援する。 ○ソフト事業 <ul style="list-style-type: none"> エリアの魅力創出、周遊・滞在型観光の推進に資する新規・拡充事業（次年度以降も継続実施するもの）に対して支援する。 												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：5,477（H26経済センサス）						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 観光まちなみ魅力アップ事業 (実績) 平成24年度～29年度 ハード、ソフト事業に対して支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進					他県の状況						

周遊・滞在型観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	市町、観光団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、補助											
補助率	ハード事業支援 3/10、ソフト事業支援 1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	227,156				227,156							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		43,631	158,472	565,925	522,948	227,156	R3 5年計画の4年目にあたり、市町からの申請見込みが大幅に減少					
2月現計予算額の推移		28,061	60,387	474,762	507,006							
決算額の推移		27,057	39,477	375,971								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)			
		実績 13,043	16,969	18,100								
活動指標	ソフト事業支援採択数	(目標) (12)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)				
		実績 13	15	15								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
ハード事業支援 10箇所 ソフト事業支援 17件				新規ハード事業 ・三国港市場リフレッシュ改修(坂井市) ・丸岡温泉たけくらべ改修(坂井市) ・若狭アドベンチャーツーリズム拠点整備(若桜町)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 295,792	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

民宿リニューアル支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広							
事業主体	市町				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度						
事業実施方法	補助																	
補助率	1/3																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限					関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]										
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>北陸新幹線の利用者や今後増加が見込まれる外国人観光客等の新たな宿泊需要に対応する必要がある。</p>																		
<p>[事業目的]</p> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の全線開通に備え、観光客の宿泊需要に対応するため、民宿の魅力向上や受入環境の整備を支援する。。</p>																		
<p>[事業内容]</p> <p>市町等が行う民宿事業者への店舗改修費の補助を支援し、宿泊の受入環境を整備 ○民宿における客室の内装改修、浴室の整備改修、トイレの様式化、外観修繕 等 県1/3、市町1/3、事業者1/3 補助上限額 5,000千円(事業費ベース15,000千円)</p>																		
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)												
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)											
市町との連携状況	市町等が行う民宿事業者への店舗改修費の補助を支援					他県の状況												

民宿リニューアル支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			R2 年度	R4 年度
補助率	1/3					□ その他			事業開始年度	R2 年度		R2 年度	
事業費	50,000		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	50,000					50,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				50,000	50,000								
2月現計予算額の推移				44,430									
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	延べ宿泊者数(万人)	(目標)		(415)	(420)		(510)	観光庁宿泊統計調査					
		実績											
活動指標	支援採択数	(目標)		(10)	(10)								
		実績											
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
外観の修繕や浴室改修など24件の民宿リニューアルを支援								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								■ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	市町ほか				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>本県を代表とする観光地としてスケールアップを図る必要がある。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>県外での認知度も高く、本県で最も観光客が訪れる東尋坊において、新しい魅力づくりや東尋坊全体の活性化を支援し、本県を代表する観光地としてスケールアップを図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>駐車場の集約・一元化、ビジターセンターの整備、商店街のリニューアル 等</p>												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	東尋坊全体の活性化策について、坂井市・地元関係者等と検討					他県の状況						

東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	市町ほか					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2等								<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	105,504				105,504								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					21,900	105,504							
2月現計予算額の推移					21,900								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) (12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)				
		実績 13,043	16,969	18,100									
活動指標		(目標)							事業内容が拠点整備等への支援であるため活動指標の設定なし				
	実績												
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
県道拡幅や駐車場の一元化等に係る測量・基本設計				<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の集約・一元化(実施設計) ・県道拡幅・市道付替え(実施設計等) ・ビクターセンター・交通ステーション(基本設計等) ・商店街リニューアル(基本設計等) 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

六呂師高原活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限				関連する県の計画等			[ふくい観光ビジョン]				
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>中部縦貫自動車道の開通に向けて、六呂師高原エリアのレベルアップを図りさらなる誘客促進を図る必要がある。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>六呂師高原の新たな誘客の柱の検討や六呂師高原内の各施設レベルアップ等を図り、中部縦貫自動車道の開通効果の最大化と地域の活性化を目指す。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>六呂師高原・奥越エリアの活性化構想の策定</p>												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数: 5,477 (H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	六呂師高原全体の活性化策について、大野市・地元関係者等と検討					他県の状況						

六呂師高原活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,139			(諸) 6,046	12,093	大野市負担金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				4,734	18,139	R3 六呂師高原・奥越エリアの活性化構想の策定						
2月現計予算額の推移				13,130								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績							六呂師高原・奥越エリアの活性化構想策定に 基づき成果指標を設定予定				
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
民間参入に向けたサウディング調査および大野市、地元関係者 による検討会を実施				六呂師高原・奥越エリアの活性化構想策定				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線開業に向けたインバウンド対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体		県、市町、観光協会、民間事業者等			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	3/4、1/2以内											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン]						
[解決すべき問題・課題]												
多言語に対応した標識、フリーWi-Fiエリア、キャッシュレス環境等、外国人がストレスフリーに旅行が出来る環境構築が課題。												
[事業目的]												
北陸新幹線敦賀延伸に向けて、外国人観光客が快適に旅行できる受入環境を整え、消費拡大を促していくため、市町との共同により重点整備エリアを選定し、域内のキャッシュレス決済・免税対応等を面的に整備する。												
[事業内容]												
(1) 県内観光事業者のインバウンド対応意識醸成、安心して受入が出来る体制づくり ・県内観光事業者向けインバウンドビジネスセミナーの開催 (2) 重点整備エリア内における外国人観光客の受入環境整備に対する経費支援												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5, 288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況							

新幹線開業に向けたインバウンド対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、市町、観光協会、民間事業者等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	3 / 4、1 / 2 以内											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	62,640				62,640							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				823	98,432	62,640	多言語コールセンター設置費用の見送り					
2月現計予算額の推移				823	8,880							
決算額の推移				0								
前年度までの主な増減理由		・ 令和2年度に受入環境整備補助金制度創設										
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	消費税免税店数 (目標) 実績	70	85	92				(500)	※北陸新幹線延伸時の消費税免税店数 現状 85店 → 目標 500店			
活動指標	セミナー開催数 (目標) 実績			(4) 0	(3) 1	(3)			R元年度新型コロナウイルスの影響により開催中止			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 免税セミナーの開催 1回 ・ 免税カウンターの設置支援 1件 ・ 市町に対する受入環境整備支援 4件 				引き続き、セミナーを通じた意識啓発を行いながら補助事業により受入環境の整備を推進				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 35,792	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

国際観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]												
訪日外国人は様々な国々から来訪し、旅行形態や目的などが様々なため、適切なプロモーションを実施する必要がある。												
[事業目的]												
海外旅行会社・メディア等への営業や貸切バスツアーへの助成等を実施し、本県への海外からの誘客拡大を図る。												
[事業内容]												
(1) 海外旅行会社、教育関係者、メディア等の招へい (2) 海外旅行会社・メディアへの営業、現地プロモーション (3) 本県へのバスツアーに対する助成 補助額 25千円/台泊 対象地域 台湾、中国、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア等 補助要件 ア 貸切バス利用 イ 県内宿泊1泊以上 ウ 県内観光地を2か所以上訪問												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5, 288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国際観光推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	22,687				22,687							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		28,686	31,794	30,167	25,283	22,687						
2月現計予算額の推移		27,686	31,794	28,667	12,108							
決算額の推移		21,604	28,599	24,603								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) (70,000) 実績 61,160	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730				(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン) ※コロナ影響により指標の設定見送り(R2、R3)			
活動指標	誘客活動実績(件)	(目標) 545 実績 545	509	519					海外旅行博等への参加、視察旅行受入・国内商談会出席等の件数			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響により多くの旅行博や視察受入旅行の実施を見送り				デジタルプロモーションを中心とした内容に変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

東京や関西等の観光団体と連携した外国人観光客誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化				関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン]						
[解決すべき問題・課題]												
東京、大阪、京都などの既に多くの外国人観光客が訪れる地域と連携した本県への誘客体制の構築。												
[事業目的]												
訪日外国人が集中し、今後も東京オリンピック・パラリンピックや大阪・関西万博などで一層の増加が見込まれる東京、大阪、京都等からの誘客を促進するため、これら地域のインバウンドに先進的に取り組んでいる観光団体等と連携し、各団体のノウハウやPRチャンネルを活かしながら、誘客拡大を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> (1) 東京都・東京観光財団との共同PR (2) 関西観光本部と連携した観光エリアの共同PR (3) 大阪観光局と連携した広域周遊ルートの共同PR (4) 京都市観光協会と連携した京都発着のショート観光ルートの共同PR (5) 長野県内の観光協会と連携した福井・長野の周遊旅行を共同PR 												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5, 288事業所(H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

東京や関西等の観光団体と連携した外国人観光客誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R2 年度 経過年数 2 年	R5 年度
補助率									□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	10,210				10,210								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					10,308	10,210							
2月現計予算額の推移					3,408								
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	外国人宿泊者数(人) (※暦年)	(目標) (70,000) 実績 61,160	(85,000) 75,860	(100,000) 97,730				(400,000)	令和6年 40万人(ふくい観光ビジョン) ※コロナ影響により指標の設定見送り(R2、R3)				
活動指標	他地域との連携実績 (件)	(目標)			(5) 1	(5)							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
関西本部と連携して、大阪から滋賀県を通り福井を周遊する観光コースを作成し、欧米豪の富裕層向けの専門旅行会社のHPにおいて販売開始								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体		県			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法		直営										
補助率		—										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3] 政策 [9]	楽しみを広げる (創造力) 100年に一度のまちづくり		関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン]						
[解決すべき問題・課題]												
小松空港を活用した本県への送客体制の構築。												
[事業目的]												
本県の魅力を航空会社等とタイアップして国内外に発信し、「本県の空の玄関口」である小松空港を活用した誘客拡大を図る。												
[事業内容]												
(1) 小松空港におけるアンテナショップの運営 場所 小松空港ターミナルビル2階 約25㎡ (2) 航空会社 (JAL、ANA等) とタイアップした誘客プロモーション JAL・・・機内誌での特集記事掲載、CA等によるおもてなし講座 ほか ANA・・・機内誌での特集記事掲載 ほか (3) 石川県と連携したプロモーション活動 小松空港協議会負担金												
[受益者] 県民、県内観光事業者等						[想定される受益者数] 79万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港における恐竜王国福井発信事業 (役割分担) 恐竜ロボット等の維持費等					
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起					

小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	12,464	3,392			9,072	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			10,418	12,031	12,464	12,464						
2月現計予算額の推移			10,418	12,031	5,707							
決算額の推移			9,105	10,495								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	(12,500) 13,043	(12,750) 16,969	(13,000) 18,100	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)		
活動指標	機内誌等での特集記事の 掲載	(目標) 実績		(2) 2	(2) 2	(2)	(2)			毎年航空会社と協議の上、実施内容を決定するため 中間目標、最終目標の設定なし		
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響を考慮して、航空会社と協力した PRは実施見送り								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

小松空港における恐竜王国福井発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり					関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]				
[解決すべき問題・課題]												
小松空港を活用した本県への送客体制の構築。												
[事業目的]												
「本県の空の玄関口」と位置付ける小松空港において、動く恐竜ロボット等を設置するなど本県の恐竜ブランド発信を強化し、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容]												
小松空港内に恐竜ロボット等を設置 設置場所 小松空港 1階到着ロビー出入口横 (8.96㎡) 主な内容 恐竜ロボットの展示、恐竜博物館等の映像放映等												
[受益者] 県民、県内観光事業者等						[想定される受益者数] 79万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小松空港を活用した誘客プロモーション事業 (役割分担) 航空会社等とのタイアップによるプロモーションを実施					
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起					

小松空港における恐竜王国福井発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			7 年
補助率	—											7 年			7 年
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,038					2,038									
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				5,502	2,067	2,038	2,038								
2月現計予算額の推移				5,502	2,067	2,038									
決算額の推移				5,077	2,028										
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)		(目標)	(12,500)	(12,750)	(13,000)	(17,500)	(18,000)	(19,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略 H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョン R2~R6)				
			実績	13,043	16,969	18,100									
活動指標	恐竜ロボットの設置 (基)		(目標)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	小松空港での設置数				
			実績		1										
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
新型コロナウイルスの影響により空港利用者は大きく減少したが 恐竜ロボットは安定的に稼働し、本県のPRに努めた								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

小松空港国際定期路線推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり					関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]				
[解決すべき問題・課題]												
羽田・成田や関西空港以外からの流入量の確保。												
[事業目的]												
石川県と連携し、小松空港とアジア各国を結ぶ国際線の新規路線開設や増便を後押しすることにより、ビジネス・観光両面での交流人口拡大を図る。												
[事業内容]												
Z												
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5, 288事業所 (H28経済センサス)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起					

小松空港国際定期路線推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			5 年
補助率															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	7,995				7,995										
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		1,376	4,006	11,500	11,200	7,995	R3 事業内容を小松空港国際線の早期再開および誘客回復に変更								
2月現計予算額の推移		1,376	4,006	11,500	0										
決算額の推移		1,376	3,637	8,019											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績								国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定なし						
活動指標	メディア等による県内視 察 (目標) 実績		(1) 1	(3)	(3)								毎年石川県と協議の上、活動内容を決定するため 単年ごとの目標設定		
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り				国際定期路線の早期回復および将来のチャーター便 誘致を見据えた取り組み等に変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					